国際開発プロジェクト特論 2010 年

演習：グループプレゼンテーション

1. はじめに

本演習は、開発政策を必要とする開発途上国を対象として、その国の政治・経済指導者にアドバイスを行うことを想定したものである。 国づくり過程にある開発途上国では、どのような開発政策・プロジェクトが国の発展に望ましいだろうか。また、国民がより幸せで快適な生活を送るためには、どのような開発政策・プロジェクトが有効だろうか。

2. 演習目的

国を発展させるには、社会・経済分野を対象として幅広くバランスの取れた開発政策・プロジェクトを実現する必要がある。しかし、国家財政が厳しい開発途上国では政策を絞り込み、貴重な財源を集中して政策・プロジェクトを実施しなければならない。ある政策・プロジェクトを優先して実施すれば、他は後回しとなる。このため各政策・プロジェクトに優先度をつける必要がある。

多くの開発途上国は政情が安定しておらず、経済活動が低迷している。治安維持か民主主義か、経済発展か貧困削減か、どちらの政策を優先するかで国家の目指す方向性が変わり、開発の速度や程度に大きな影響が生じる。また政策遂行には国民の協力が不可欠であり、政策・プロジェクトの概念や目的についての理解も求められる。

本演習の目的は、国家開発政策のあり方を理解し、国民の視点も踏まえて、開発政策・プロジェクトの考え方を理解することにある。これにより、開発を遠い世界のことではなく、自分たちの身近な問題として捉えることができる。

3. 対象国選定

下記から、開発途上の対象国を１つ選ぶ。対象国は、（１）国家としての体制・施設基盤が十分に整備されていない、（２）政治・経済面において多くの開発問題を抱えている、（３）国民の所得格差が激しく、貧困レベル（1 日あたり 1$以下の収入）で生活している人も多い、などの観点から選択する。このような背景から、対象国の開発政策を推進するため、表－１に示した開発政策項目を実現していく必要がある。あなたは開発コンサルタントとして、対象国が取り組むべき政策案について助言することになったと考える。

対象国候補

①アジア：イエメン、カンボジア、ラオス
②大洋州・NIS：パプアニューギニア、東チモール、ウズベキスタン
③アフリカ：ウガンダ、エチオピア、コンゴ民主共和国
④アメリカ：ボリビア、ハイチ、ニカラグア

4. プレゼンテーション

５月２４日前まで

①今日の講義で地域を決定する。

②５月１０日の講義で各グループの対象国を決定する。

③選択した対象国に対し、表－１に示した開発政策９項目の優先順位を決める。

その際、各項目を次のように分類する。

ア）緊急性が極めて高く、かつ重要性が高いと思われる政策を １枚

イ）緊急性が次に高く、やや重要な政策を ２枚

ウ）緊急性は高くないが中期的には重要な政策を ３枚

エ）長期的に重要となる政策を２枚

オ）長期的にもあまり重要ではない政策を １枚

④優先順位付けの結果を、図－１のようにダイヤモンドの形になるように並べる。これをダイヤモンド･ランキングという。

５月２４日のグループプレゼンテーション

ダイヤモンド・ランキングを元に、次の内容について発表する。

発表時間は各班１０分。数名で分担して発表する。

１）国を選んだ理由

２）ダイヤモンド・ランキング作成（優先順位付け）の根拠

３）対象国の開発のために、今すぐ実施すべき政策を１つ選ぶ。政策の組み合わせでも良い。

４）選択した政策を有効に実現するため、手段（対応策）としてプロジェクトを提案する。プロジェクト実施の手順、他分野への波及、事業予算と調達方策についても検討する。

留意点 表－１の政策には、緊急に取り組まねばならない政策と、中長期に対応すべき政策が混在している。医療、教育、インフラ整備など異なる分野、政策に対して優先順位付けを行うにはどうしたらよいのだろうか。それら項目を比較するための考え方はいかにあるべきだろうか。その評価基準、指標はどう設定すべきであろうか。これらの事項を念頭に発表を行う.

5. レポート提出

５月２４日のプレゼンテーションでは、自分たちの発表だけでなく、他グループの発表も聴講し、分析・考察する。対象国の背景を適切に考慮しているか、経済開発あるいは社会開発を重視する考え方、など、各々の政策の重要性とプロジェクトの内容を比較しながら考察する。

以上の点を踏まえ、個人でレポートをまとめる。レポートでは、自分のグループの優先順位付けの根拠の考え方、プロジェクトの内容をまとめる。また，自分達の発表と他グループの発表を比較し、他班の内容についての考察結果もまとめる。

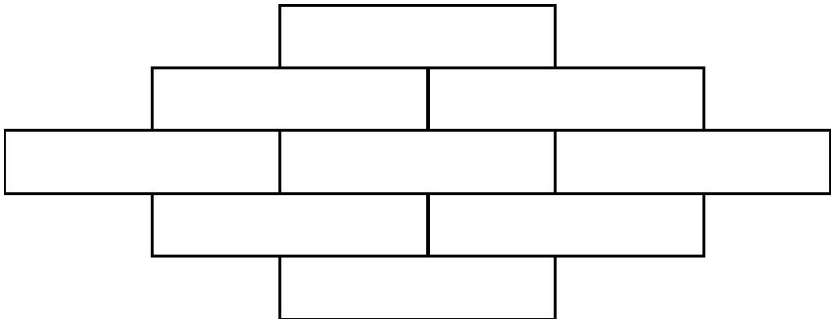
グループプレゼンテーション（班別の点数）とレポート（個人の点数）は別々に採点する。

レポート提出期限　5 月 31 日の講義で花岡に提出.

表－１　開発政策項目

A　農業、工業、商業が発展し、国の生産能力が向上する。これにより富が増え、雇用機会も増大する。	B　政党の自由を認め、権力や権限がより平等に人々に行き渡り、個人の発言の自由が保障される。	C　施設の整備により、衛生環境が改善される。健康保険医療制度の充実により、健康的な生活が行われる。
D 社会･産業基盤、例えば交通網が十分整備され、それにより経済が成長する。	E　外国の資本を導入して、近代農法の導入、設備投資による大工場が建設される。これにより、先進国から最新鋭の技術が移転される。	F　経済活動、生活基盤整備、あるいは福祉などへの諸外国からの援助依存を減らす。対外債務を減らして自国の独立性を高める。
G　強力で安定した政権を樹立し、政権基盤を固める。	H　誰もが義務教育が受けられるようにする。さらに中等、高等教育が充実させ、教育への窓口を広げる。	I　個人格差を解消させ、貧困を撲滅する。より良い家族計画がなされ人口を急増させない。これにより、各家庭が充実した保健サービスを受けられるようにする。

図－１　ダイヤモンド･ランキング



参考図書

①いきいき開発教育、開発教育協議会、2000 年 5 月

②開発教育･国際理解教育ハンドブック、(財)国際協力推進協会、2001 年 3 月

③開発途上国における都市問題とそれに対応した事業の優先度評価に係わる考察－都市問題の分類･体系化およびワークショップ型実験による階層分析の検証を通じてー、徳永達己、高橋洋二、日本計画行政学会「計画行政」第 29 巻第 2 号、2006 年 6 月